

部 方 針 書

年度	部名	部長名
R8	水道局	石川 一清

1 部の経営方針（部全体を俯瞰したマネジメントの目標）

No	経営方針・取組の方向性（業務、組織、人材に関するマネジメント目標を含む）
1	安全・安心でおいしい水を安定的に供給するため、施設の健全化・運転の適正化・水質管理の徹底を図る。
2	ライフラインとして欠かすことのできない水道水を安定的に供給するため、優先順位をつけながらインフラ整備を行う。
3	水道事業が将来に向けサービス水準を維持できるよう、財政基盤の強化に努め、経営の安定を図る。
4	水道事業を円滑に進めるため、組織・機構の確立に努め、局内の連携を密にし経営の安定を図る。
5	水道料金収納率の向上を目指し、常にお客様目線に立ち、親切丁寧な対応を心がける。
6	風通しの良い職場環境づくりをし、職員一人ひとりが心身ともに健康で、仕事と生活が両立できる環境づくりを進める。
人財育成・内部統制	管理職自らが動き模範となるとともに、協力・連携して職員の人材育成に努める。 各課において、事務処理チェックリストを作成し、業務におけるリスクの洗い出しと具体的な対応策を整理する。また、業務マニュアルや手引きなど随時更新を行い、根拠法令等に基づいた業務処理を適切に進める。

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R8	総務企画課	礒部 覚

1 課の使命

市民生活、まちづくりにおいてどのような責務を負っているか、存在理由
・水道事業を円滑に進めるため、組織・機構の確立に努め、経営の安定を図る。 ・各課の主要施策を確実に実行させるため、連携を密にするとともに協力体制を整える。

2 課の目標

No.	使命を果たすために目指す状態、到達点	関連計画	指標(単位)	最終目標 (最終目標年度)	R7実績(見込)	R8目標
1	水道事業総合計画の見直し及び後期アクションプランの策定	個別計画 (水道事業総合計画)	宇部市水道事業総合計画の見直し及び後期アクションプランの策定	策定 (R8年度末)	—	後期アクションプラン策定
2	危機管理計画(事業継続)実現のための災害に強いシステムの構築	個別計画 (水道事業総合計画)	サーバ仮想化基盤更改	更改 (R8年度末)	—	更改
3	防災訓練を体験することによる市民の防災意識の向上	個別計画 (水道事業総合計画)	住民参加型防災訓練(累計:件) (事業期間:R4～R8年度)	累計20件 (R8年度末)	累計25件	累計33件
4	安全で安心できる水道水についてのPR活動の推進	個別計画 (水道事業総合計画)	みずいく実施件数(累計:件) (事業期間:R4～R8年度)	累計120件 (R8年度)	累計68件	累計92件
人財育成/内部統制	事務事業の決裁起案に根拠関連法令等の記載及び決裁時におけるチェックリストによる確認を徹底する。	その他				

3 課の人的資源(R8.4.1時点)

正規職員	うち定年延長	うち再任用	
16	1	0	

会計年度職員	臨時職員
1	0

4 R8年度の主な取組（※重点順）

目標No.	事業名・取組名	市長方針書	未来PJ	R8予算額(千円)	事業実施の必要性(市民にとって何が良くなるか、まちがどう変化するか)やボトルネック
	後期アクションプランの策定	—	—	ゼロ予算	人口減少や物価高騰等の社会情勢を踏まえた計画の見直しとアクションプランによる進捗管理を行うことで、持続可能な水道事業運営を実現する。
1	R8年度の取組内容(何をするか簡潔・明瞭に)				取組の進捗を測る目標(アウトプット指標)
	宇部市水道事業総合計画(計画期間:R4~R13)について前期5年間の総括を行うとともに、人口減少や物価高騰等の影響を踏まえ、実績に基づいた計画見直しを行う。併せて後期5年間のアクションプランを策定する。				水道事業総合計画後期アクションプランの策定 現状(R7年度末) — R8年度末 ▶ 後期アクションプラン完成
目標No.	事業名・取組名	市長方針書	未来PJ	R8予算額(千円)	事業実施の必要性(市民にとって何が良くなるか、まちがどう変化するか)やボトルネック
	事業継続計画の推進	—	—	90,200千円	本庁舎設置の庁内LANサーバを市内データセンターへ移設することにより、被災時にも水道事業継続が可能となる。
2	R8年度の取組内容(何をするか簡潔・明瞭に)				取組の進捗を測る目標(アウトプット指標)
	庁内LAN用サーバの仮想化基盤更改作業に伴い、サーバ室を水道局本庁舎から市内データセンターへ移設する。 ※令和7年度からの債務負担行為				令和8年9月末までに事業完了 現状(R7年度末) — R8年度末 ▶ サーバ更改作業完了
目標No.	事業名・取組名	市長方針書	未来PJ	R8予算額(千円)	事業実施の必要性(市民にとって何が良くなるか、まちがどう変化するか)やボトルネック
	危機管理体制の充実	—	—	265千円	各地区の自主防災会等と連携して防災訓練を実施することにより、災害時の給水コンテナの取扱いなど迅速かつ的確な対応が可能となる。
3	R8年度の取組内容(何をするか簡潔・明瞭に)				取組の進捗を測る目標(アウトプット指標)
	宇部市総合防災訓練や各地区主催の防災訓練に参加し、給水コンテナの活用方法等を含めた水道に関する防災についての意識の向上を図る。				住民参加型防災訓練の実施件数(累計) 現状(R7年度末) 25件 R8年度末 33件 ▶
目標No.	事業名・取組名	市長方針書	未来PJ	R8予算額(千円)	事業実施の必要性(市民にとって何が良くなるか、まちがどう変化するか)やボトルネック
	水道水PR活動	—	—	930千円	安全安心な水づくりを周知することで、水道水の満足度や信頼性が向上する。
4	R8年度の取組内容(何をするか簡潔・明瞭に)				取組の進捗を測る目標(アウトプット指標)
	行事・イベント等によるPR ・小学生を対象とした授業でのPR(みずいく) ・水道週間行事(懸垂幕設置・新聞広報ほか) ・宇部まつり(水道ブース) ・水源保全体験(水源地域での下草刈りほか) ・小野湖の日イベント参加(水道ブース)				みずいく実施件数(累計) 現状(R7年度末) 68件 R8年度末 90件 ▶

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R8	財務課	久保 孝

1 課の使命

市民生活、まちづくりにおいてどのような責務を負っているか、存在理由

- ・水道事業が将来に向けサービス水準を維持できるよう、財政基盤の強化に努め、経営の安定を図る。
- ・入札、契約業務の適正な履行により、入札機会の均等に努めるとともに、適正な競争を通じて効率的な事業運営に繋げる。
- ・工事の適切かつ能率的な施工の確保及び工事に関する技術水準の向上並びに建設業の健全な発達に資することを目的とする「品確法に基づく技術検査」を行う。

2 課の目標

No.	使命を果たすために目指す状態、到達点	関連計画	指標(単位)	最終目標 (最終目標年度)	R7実績(見込)	R8目標
1	予算執行方針及び編成方針の徹底(規律ある財政運営)による経営の安定	個別計画 (水道事業総合計画)	経常収支比率(%)	100%以上 (R8年度末)	100.89%	100%以上
2	企業債の適正借入(固定負債の増加抑制)による財政基盤の強化	個別計画 (水道事業総合計画)	企業債残高対給水収益比率 (%)	280.21%未満 (R8年度末)	278.95%	280.21%未満
3	余裕資金の運用強化	その他	公共債(県債・市債等)の購入 (事業期間:R8~R12年度)	5億円 (R12年度末)	—	1億円
人財育成/内部統制	次世代・次々世代の経理担当者及び契約検収事務担当者の育成 契約検収事務チェックリストの活用による事務手続ミス防止	その他				

3 課の人的資源(R8.4.1時点)

正規職員	うち定年延長	うち再任用	
11	0	2	

会計年度職員	臨時職員
1	0

4 R8年度の主な取組（※重点順）

目標 No.	事業名・取組名	市長方針書	未来PJ	R8予算額(千円)	事業実施の必要性(市民にとって何が良くなるか、まちがどう変化するか)やボトルネック
	財政健全化事業	重点実装 ②-2	—	ゼロ予算	人口減少等により料金収入の減少が続く(R2→R6の期間では年平均△約5千万円)一方、老朽施設の更新需要は宇部市水道事業総合計画期間(R4～R13)総額で約183億円と見込まれることから、財源確保が重要な課題となっている。そのため、優先順位を考慮した支出の徹底を行う必要がある。
1 、 2	R8年度の取組内容(何をするか簡潔・明瞭に)				取組の進捗を測る目標(アウトプット指標)
	・予算執行方針及び編成方針の徹底(規律ある財政運営) ・企業債の適正借入				①経常収支比率 ②企業債残高対給水収益比率 現状(R7年度末) R8年度末 ①100.89% ▶ ①100.59% ②278.95% ②280.21%未満
目標 No.	事業名・取組名	市長方針書	未来PJ	R8予算額(千円)	事業実施の必要性(市民にとって何が良くなるか、まちがどう変化するか)やボトルネック
	余裕資金の運用強化	重点実装 ②-2	—	100,000千円	余裕資金の運用については、従来1年以内の定期預金により利息収入を得ていたが、より利率の高い公共債(県債・市債等)を購入し、利息収入を得ることにより収益の確保に努める。
3	R8年度の取組内容(何をするか簡潔・明瞭に)				取組の進捗を測る目標(アウトプット指標)
	公共債(県債・市債等)を1億円購入				投資有価証券残高 100,000千円 現状(R7年度末) R8年度末 0円 ▶ 100,000千円

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R8	営業課	田中則之

1 課の使命

市民生活、まちづくりにおいてどのような責務を負っているか、存在理由

・水道料金及び下水道使用料の正確な調定を行うとともに、料金収納率の向上と上下水道の使用に関し、常にお客様目線に立った、親切丁寧な対応と接遇能力の向上に努める。

2 課の目標

No.	使命を果たすために目指す状態、到達点	関連計画	指標(単位)	最終目標 (最終目標年度)	R7実績(見込)	R8目標
1	ライフスタイルに合わせた料金収納機会を確保することで、早期回収に努め、水道料金の収納率を向上	個別計画 (第4期債権管理計画)	現年度収納率(%) (翌年度5月末見込み)	99.51% (R8年度末)	99.50%	99.51%
2	水道料金及び下水道使用料調定の根幹となる検針業務について、お客様サービス向上を目的に検針業務受託事業者を選定	その他	事業者の選定 (R8～R9年度)	選定 (R9年度7月末)	—	実施説明会開催
3	業務の効率化とお客様の利便性向上を目的に、水道DXの導入	その他	水道DX導入数(件) (R8～R9年度)	3件 (R9年度末)	—	可能性調査
人財育成/内部統制	内部統制チェックリストを課内に浸透させ、凡事徹底が課の組織風土となるように職員を育成する。					

3 課の人的資源(R8.4.1時点)

正規職員	うち定年延長	うち再任用	
18	0	0	

会計年度職員	臨時職員
1	0

4 R8年度の主な取組（※重点順）

目標No.	事業名・取組名	市長方針書	未来PJ	R8予算額(千円)	事業実施の必要性(市民にとって何が良くなるか、まちがどう変化するか)やボトルネック
1	水道料金の収納促進	—	—	ゼロ予算	未納料金に対する計画的な分納相談等を実施するとともに、収納状況の進捗管理を徹底することで、水道使用者の公平性を確保し、健全な水道事業を維持する。
	R8年度の取組内容(何をするか簡潔・明瞭に)				取組の進捗を測る目標(アウトプット指標)
	・検針時の納入通知書発行による請求 ・口座振替の推進 ・時差出勤勤務を活用した収納指導時間の変更(17:15以降の電話連絡等) ・停水執行使用者に対する納入通知書の配布 ・分納誓約による収入未済額の縮減				現年度収納率(%) 現状(R7年度末) R8年度末 99.50% ▶ 99.51%
目標No.	事業名・取組名	市長方針書	未来PJ	R8予算額(千円)	事業実施の必要性(市民にとって何が良くなるか、まちがどう変化するか)やボトルネック
2	検針業務受託事業者選定	—	—	ゼロ予算	民間事業者の経験を活用した検針業務を行うことにより、正確な料金の請求、漏水の早期発見及び経営の安定化を図る。
	R8年度の取組内容(何をするか簡潔・明瞭に)				取組の進捗を測る目標(アウトプット指標)
	・実施計画書作成 ・第1回選定委員会開催(実施計画及び要綱の審査) ・参加事業者募集 ・第2回選定委員会開催(参加事業者の審査) ・参加事業者実施説明会開催				プロポーサル参加事業者の実施説明会開催 現状(R7年度末) R8年度末 — ▶ 実施説明会開催
目標No.	事業名・取組名	市長方針書	未来PJ	R8予算額(千円)	事業実施の必要性(市民にとって何が良くなるか、まちがどう変化するか)やボトルネック
3	水道DXの推進	—	—	ゼロ予算	水道DXを活用することで、業務の効率化とお客様の利便性を向上させる。
	R8年度の取組内容(何をするか簡潔・明瞭に)				取組の進捗を測る目標(アウトプット指標)
	・SMSを活用した電話督促に代わりリマインド送信に係る可能性調査 ・納入通知書の電子送付に係る可能性調査 ・チャットボットを活用した異動受付				水道DX導入数(件) 現状(R7年度末) R8年度末 — ▶ 可能性調査

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R8	上水道整備課	久保 勉

1 課の使命

市民生活、まちづくりにおいてどのような責務を負っているか、存在理由

- ・安全・安心な水道水を配水池から各家庭の蛇口まで、断水等ないよう安定的に給水する。
- ・施設が老朽化するなかで、漏水状況等を勘案し、優先順位を付けながら地震等災害に対応しうる施設を構築する。

2 課の目標

No.	使命を果たすために目指す状態、到達点	関連計画	指標(単位)	最終目標 (最終目標年度)	R7実績(見込)	R8目標
1	管路の耐震化を推進することで、地震等の災害に強い施設を構築し安定供給を確保	個別計画 (水道事業総合計画)	全管路耐震適合率 (累計:%) (事業期間:R4～R13年度)	36.50% (R13年度末)	30.80%	31.80%
2	漏水防止対策を強化し有収率の向上	個別計画 (水道事業総合計画)	有収率(%) (事業期間:R4～R13年度)	92%以上 (R13年度末)	88.65%	92%以上
3	水道DXを活用した管路劣化診断の導入	その他	水道DX導入	水道DX導入 (R9年度末)	—	水道DX評価
人財育成/内部統制	若手職員の指導、育成を強化し技術継承を図る。 決裁時の書類チェックの徹底					

3 課の人的資源(R8.4.1時点)

正規職員	うち定年延長	うち再任用	
34	0	0	

会計年度職員	臨時職員
0	0

4 R8年度の主な取組（※重点順）

目標No.	事業名・取組名	市長方針書	未来PJ	R8予算額(千円)	事業実施の必要性(市民にとって何が良くなるか、まちがどう変化するか)やボトルネック
1	配水管整備事業 (重要管路耐震化事業、ビニル管更新事業、老朽管更新事業他)	—	—	790,710千円	水道管路総延長1,134km中、耐震適合管延長が349kmで、全体の30.8%【R7年度末見込み】にとどまっている。安全で安心な水道水の安定供給を確保するため耐震化を実施する必要がある。
	R8年度の取組内容(何をするか簡潔・明瞭に)				取組の進捗を測る目標(アウトプット指標)
	管路更新総合計画に基づき、耐震管による布設替を実施し、耐震適合率を向上させる。 R8更新延長 L=8,054m (・重要管路耐震化事業 L=451m ・ビニル管更新事業 L=5,247m ・老朽管更新事業 L=1,325m ・その他 L=1,031m) ※R7繰越延長 L=3,729m				全管路の耐震適合率(累計:%) (事業期間:R4~R13年度) 現状(R7年度末) 30.80% R8年度末 ▶ 31.80%
目標No.	事業名・取組名	市長方針書	未来PJ	R8予算額(千円)	事業実施の必要性(市民にとって何が良くなるか、まちがどう変化するか)やボトルネック
2	漏水防止対策の強化	—	—	6,500千円	R4年度末の有収率は90.92%であったが、R7年度末は88.65%と低い水準である。この原因は、潜在的な地下漏水が発生していることが想定されるため、漏水防止対策を強化し有収率の回復を目指す必要がある。
	R8年度の取組内容(何をするか簡潔・明瞭に)				取組の進捗を測る目標(アウトプット指標)
	東西岐波地区、小野地区及び吉部地区他の漏水調査業務委託(調査延長L=97.0km)を行い、漏水箇所の修理を実施する。 ・東西岐波地区 L=55.0km ・小野地区 L=4.4km ・吉部地区他 L=37.6km				有収率92%以上 現状(R7年度末) 88.65% R8年度末 ▶ 92%以上
目標No.	事業名・取組名	市長方針書	未来PJ	R8予算額(千円)	事業実施の必要性(市民にとって何が良くなるか、まちがどう変化するか)やボトルネック
3	水道DXを活用した管路劣化診断の導入	—	—	ゼロ予算	更新計画の効率化を図るため、老朽管の更新判断基準を高度化した水道DX活用による非開削型の管路劣化診断の導入が必要である。
	R8年度の取組内容(何をするか簡潔・明瞭に)				取組の進捗を測る目標(アウトプット指標)
	水道DXを活用した非開削型の管路劣化診断について導入の可否を検討する。				水道DX導入 現状(R7年度末) — R8年度末 ▶ 水道DX評価

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R8	浄水課	山本晃広

1 課の使命

市民生活、まちづくりにおいてどのような責務を負っているか、存在理由

- ・安心して使用できる安全でおいしい水を安定的に供給するため、浄水施設の健全化・運転の適正化・水質管理の徹底を図る。
- ・人口減少等に伴う水道料金収入の減少による経営状況を踏まえ、工事や浄水処理の効率化に努める。

2 課の目標

No.	使命を果たすために目指す状態、到達点	関連計画	指標(単位)	最終目標 (最終目標年度)	R7実績(見込)	R8目標
1	中山浄水場夜間無人化による、人員の適正配置	その他	中山浄水場夜間無人化	夜間無人化 (R10年度当初)	課題抽出	予算化
2	広瀬浄水場水管橋の耐震化	個別計画 (重要施設更新計画)	事業進捗率(事業費:%) (事業期間:R8～R10年度)	100% (R10年度末)	—	耐震診断
3	ろ過閉塞対策としてろ過池の複層化による、安定給水を持続	個別計画 (重要施設更新計画)	複層化池数(累計:池) (事業期間:R6～R8年度)	8池 (R8年度末)	5池	8池
4	制御盤の機器や部品の更新を行い、中央監視や自動制御による安定給水を持続	個別計画 (重要施設更新計画)	更新施設数(累計:施設) (事業期間:R7～R8年度)	32施設 (R8年度末)	23施設	32施設
人財育 成/内 部統制	浄水処理に係る技術者の育成・技術継承(電気・運転・保全・水質) 決裁時チェックリストの徹底及び内部統制事項の周知徹底					

3 課の人的資源(R8.4.1時点)

正規職員	うち定年延長	うち再任用	
39	2	2	

会計年度職員	臨時職員
0	0

4 R8年度の主な取組（※重点順）

目標No.	事業名・取組名	市長方針書	未来PJ	R8予算額(千円)	事業実施の必要性(市民にとって何が良くなるか、まちがどう変化するか)やボトルネック
1	中山浄水場夜間無人化	—	—	3,000千円	現在中山浄水場は、夜間2人体制で勤務を行っているが、無人化することにより人員の適正配置を行い、浄水施設の健全化を図り、安全な水の安定供給を推進する。
	R8年度取組内容(何をするか簡潔・明瞭に)				取組の進捗を測る目標(アウトプット指標)
	ポンプ井に水位計を設置し、送水ポンプ連続運転によるポンプ井の水位変動を観測・分析し、夜間無人化が可能かどうか検証する。夜間無人化に必要な諸条件(設備・機器)を整理、検討し予算化する。				中山浄水場夜間無人化 現状(R7年度末) R8年度末 課題抽出 ▶ 予算化
目標No.	事業名・取組名	市長方針書	未来PJ	R8予算額(千円)	事業実施の必要性(市民にとって何が良くなるか、まちがどう変化するか)やボトルネック
2	広瀬浄水場水管橋耐震化事業	—	—	52,890千円	本水管橋には500mmと1200mmの導水管及び1000mmの送水管が3条架設されており、地震等の災害によって大規模断水とならないよう耐震化を行う必要がある。
	R8年度取組内容(何をするか簡潔・明瞭に)				取組の進捗を測る目標(アウトプット指標)
	水管橋の耐震診断を行う。 国の交付金事業採択に向け県と協議を進める。				事業進捗率(事業費:%) (事業期間: R8～R10年度) 現状(R7年度末) R8年度末 — ▶ 耐震診断
目標No.	事業名・取組名	市長方針書	未来PJ	R8予算額(千円)	事業実施の必要性(市民にとって何が良くなるか、まちがどう変化するか)やボトルネック
3	広瀬浄水場2系急速ろ過池複層化事業	—	—	51,000千円	近年、原水にろ過閉塞を引き起こすプランクトンが大量に発生し、浄水処理障害が引き起こされていることから、安定した給水量を確保するため、ろ過池の複層化をする必要がある。
	R8年度取組内容(何をするか簡潔・明瞭に)				取組の進捗を測る目標(アウトプット指標)
	単層構造のろ過池を、ろ過砂に加えて無煙炭(アンスラサイト)を敷き詰め、2層構造にする。				複層化池数(累計: 池) (事業期間: R6～R8年度) 現状(R7年度末) R8年度末 5池 ▶ 8池

目標 No.	事業名・取組名	市長方針書	未来PJ	R8予算額(千円)	事業実施の必要性(市民にとって何が良くなるか、まちがどう変化するか)やボトルネック
	配水池他制御盤更新事業	—	—	15,000千円	配水池等の制御盤の調節計や電源装置に故障が発生すると、中央監視や自動制御ができないことから、計画的に機器を更新する必要がある。
4	R8年度の取組内容(何をするか簡潔・明瞭に)				取組の進捗を測る目標(アウトプット指標)
	制御盤内の機器・部品の取替え(9施設) 更新施設: 王子・小野調整池、新都市アカデミータウン増圧ポンプ所、一ノ坂・楢小野・宇内・正法寺・吉部市送水ポンプ所、楠地区流入流量計				更新施設数(累計: 施設) (事業期間: R7～R8年度)
					現状(R7年度末) 23施設 R8年度末 ▶ 32施設